



2020年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月14日

上場会社名 株式会社 大庄
 コード番号 9979 URL <http://www.daisy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 平 了寿
 (氏名) 野間 信護
 TEL 03-5764-2229
 配当支払開始予定日 2020年5月21日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第2四半期の連結業績(2019年9月1日～2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第2四半期	29,218	4.1	24		63	76.2	240	
2019年8月期第2四半期	30,478	0.5	251	207.4	266	227.4	94	

(注) 包括利益 2020年8月期第2四半期 237百万円 (%) 2019年8月期第2四半期 168百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第2四半期	11.46	
2019年8月期第2四半期	4.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期第2四半期	41,105	22,258	53.6	1,050.70
2019年8月期	42,805	22,671	52.5	1,070.34

(参考) 自己資本 2020年8月期第2四半期 22,049百万円 2019年8月期 22,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期		6.00		8.00	14.00
2020年8月期		6.00			
2020年8月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2020年8月期の期末配当予想につきましては、同日開示いたしました「2020年8月期 配当予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、新型コロナウイルス感染拡大が業績へ大きく影響することが見込まれることから、現時点での2020年8月期の期末配当予想は未定とさせていただきます、業績への影響を精査したうえで決定・公表させていただきます。

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

2020年8月期の連結業績予想につきましては、2020年4月8日に開示いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、新型コロナウイルス感染拡大により業績予想の合理的な算出が困難な状況にあるため、2019年10月15日に公表した通期業績予想を一旦取下げ、未定とさせていただきます、算出が可能となった段階で速やかに公表させていただきます。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期2Q	21,198,962 株	2019年8月期	21,198,962 株
期末自己株式数	2020年8月期2Q	213,634 株	2019年8月期	213,634 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期2Q	20,985,328 株	2019年8月期2Q	20,684,107 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済政策・金融政策の効果为背景に、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の持ち直しが見られたものの、新型コロナウイルス感染症が与える内外経済の下振れリスクや金融市場の変動などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、中食市場の拡大などによる他業種との企業間競争の激化が継続する中、人手不足を背景とした人件費の高騰、相次ぐ自然災害等の影響も重なり、依然として厳しい環境が続きました。さらに新型コロナウイルス感染症の流行拡大による影響も懸念され、今後も予断を許さない状況にあります。

このような状況下において、当社グループは、「日本の台所」の役割を果たしていくとともに、企業価値の向上を目指し収益拡大を図るため、店舗業態・MD（マーチャンダイジング）のさらなる充実化及び差別化、FC・VC（ボランタリーチェーン）の店舗オペレーションのサポート強化、各種SNSを利用したデジタルマーケティングの強化、新物流センターを核とした「外販事業」のさらなる拡大・強化等の施策に取り組みました。

店舗展開におきましては、新規出店を3店舗、店舗改装を17店舗、店舗閉鎖を18店舗で行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ4.1%減少の29,218百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う自粛や、昨年9月、10月に上陸した台風による営業時間短縮及び店休の実施等により、当社グループの既存店売上高が対前年比97.0%と減少したことや、前期に実施した店舗閉鎖による売上減少が影響し、売上高は前年同期に比べ6.0%減少の22,174百万円となりました。

卸売事業につきましては、卸売子会社が行うグループ外部取引先への販売業務が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ3.9%減少の2,001百万円となりました。

不動産事業につきましては、所有不動産の有効活用によって家賃収入が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ9.2%増加の606百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗の減少に伴いロイヤリティ収入が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ10.5%減少の212百万円となりました。

運送事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ7.0%増加の3,991百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ17.7%減少の232百万円となりました。

一方、利益面につきましては、営業損失は24百万円（前年同期は営業利益251百万円）、経常利益は63百万円（前年同期比76.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は240百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失94百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は15,252百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,354百万円減少となりました。これは、現金及び預金が1,219百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は25,837百万円となり、前連結会計年度末に比べて343百万円減少となりました。これは、敷金及び差入保証金が163百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は9,218百万円となり、前連結会計年度末に比べて139百万円増加となりました。これは、賞与引当金が208百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は9,629百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,425百万円減少となりました。これは、長期借入金が1,294百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は22,258百万円となり、前連結会計年度末に比べて412百万円減少となりました。これは、配当金の支払いや親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が408百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,219百万円減少の11,531百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,219百万円の資金収入（前年同期は1,552百万円の資金収入）となりました。収入の主な内訳は減価償却費769百万円及び賞与引当金の増加額213百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、633百万円の資金支出（前年同期は1,146百万円の資金支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出578百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,804百万円の資金支出（前年同期は811百万円の資金収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,537百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の連結業績予想につきましては、2020年4月8日に開示いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、新型コロナウイルス感染拡大による今後の政府の対応や自粛要請の内容等が不透明であり業績予想の合理的な算出が困難な状況にあるため、2019年10月15日に公表した通期業績予想を一旦取下げ、未定とさせていただき、算出が可能となった段階で速やかに公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,800	11,580
売掛金	2,377	2,166
商品及び製品	515	574
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	155	154
その他	812	828
貸倒引当金	△55	△53
流動資産合計	16,606	15,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,937	9,757
機械装置及び運搬具(純額)	890	879
工具、器具及び備品(純額)	530	528
土地	3,699	3,699
リース資産(純額)	53	284
建設仮勘定	17	35
有形固定資産合計	15,129	15,185
無形固定資産		
借地権	913	913
ソフトウェア	518	467
その他	138	137
無形固定資産合計	1,569	1,518
投資その他の資産		
投資有価証券	165	159
出資金	3	3
長期貸付金	17	15
差入保証金	5,795	5,666
敷金	3,027	2,993
繰延税金資産	309	121
その他	233	190
貸倒引当金	△69	△16
投資その他の資産合計	9,481	9,134
固定資産合計	26,180	25,837
繰延資産		
社債発行費	17	16
繰延資産合計	17	16
資産合計	42,805	41,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,021	1,737
短期借入金	40	40
1年内返済予定の長期借入金	2,972	2,728
1年内償還予定の社債	130	130
リース債務	31	54
未払金	2,214	2,155
未払法人税等	357	263
未払消費税等	473	532
賞与引当金	389	598
株主優待引当金	131	124
店舗閉鎖損失引当金	-	4
資産除去債務	21	68
その他	296	779
流動負債合計	9,078	9,218
固定負債		
社債	815	750
長期借入金	5,890	4,595
リース債務	38	267
退職給付に係る負債	1,849	1,865
役員退職慰労引当金	219	171
受入保証金	631	648
資産除去債務	1,269	1,234
繰延税金負債	336	91
その他	5	5
固定負債合計	11,055	9,629
負債合計	20,134	18,847
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	10,034	10,034
利益剰余金	3,989	3,581
自己株式	△250	△250
株主資本合計	22,400	21,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66	62
土地再評価差額金	△5	△5
その他の包括利益累計額合計	60	57
非支配株主持分	209	208
純資産合計	22,671	22,258
負債純資産合計	42,805	41,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
売上高	30,478	29,218
売上原価	12,505	12,335
売上総利益	17,972	16,883
販売費及び一般管理費	17,721	16,908
営業利益又は営業損失(△)	251	△24
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	1	1
受取保険金	-	32
貸倒引当金戻入額	0	52
受取損害賠償金	12	6
その他	36	25
営業外収益合計	51	121
営業外費用		
支払利息	19	15
貸倒引当金繰入額	0	1
その他	16	16
営業外費用合計	36	32
経常利益	266	63
特別利益		
固定資産売却益	1	2
関係会社株式売却益	15	-
受取補償金	10	10
特別利益合計	26	12
特別損失		
固定資産売却損	-	2
固定資産除却損	107	57
店舗関係整理損	15	18
減損損失	147	163
店舗閉鎖損失引当金繰入額	0	4
固定資産圧縮損	-	11
特別損失合計	271	258
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	22	△182
法人税、住民税及び事業税	102	105
法人税等調整額	7	△55
法人税等合計	110	50
四半期純損失(△)	△87	△233
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	7
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△94	△240

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
四半期純損失(△)	△87	△233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80	△3
その他の包括利益合計	△80	△3
四半期包括利益	△168	△237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△174	△244
非支配株主に係る四半期包括利益	6	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	22	△182
減価償却費	845	769
減損損失	147	163
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△48	△54
賞与引当金の増減額(△は減少)	222	213
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△16	17
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△29	△40
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	0	4
受取利息及び受取配当金	△1	△4
支払利息	19	15
関係会社株式売却損益(△は益)	△15	△4
固定資産除却損	107	57
固定資産売却損益(△は益)	△1	0
固定資産圧縮損	-	11
売上債権の増減額(△は増加)	243	205
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11	△59
仕入債務の増減額(△は減少)	△352	△284
未払消費税等の増減額(△は減少)	227	86
その他	363	502
小計	1,722	1,419
利息及び配当金の受取額	2	4
利息の支払額	△19	△14
法人税等の支払額	△187	△190
法人税等の還付額	34	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,552	1,219
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△969	△578
有形固定資産の売却による収入	3	0
無形固定資産の取得による支出	△81	△35
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	△4
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	16	-
貸付けによる支出	△5	△4
敷金及び保証金の差入による支出	△21	△85
敷金及び保証金の回収による収入	198	210
その他	△287	△136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,146	△633
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△35	-
長期借入れによる収入	2,800	-
長期借入金の返済による支出	△1,898	△1,537
社債の発行による収入	197	-
社債の償還による支出	△45	△65
配当金の支払額	△165	△167
自己株式の取得による支出	△0	-
非支配株主への配当金の支払額	△5	△4
リース債務の返済による支出	△35	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	811	△1,804
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,218	△1,219
現金及び現金同等物の期首残高	12,114	12,751
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,333	11,531

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、従来、物流センター以外の資産、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物以外の有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

当社においては、2018年9月にグループ会社が集結する羽田物流センターが本格稼働し、当社店舗の有形固定資産の使用状況及び減価償却方法について再検討を行いました。その結果、当社における有形固定資産はその使用期間中に均等な使用になると見込まれること、収益が安定的に発生していること、修繕費などの維持管理費用が平準的に発生していることなどから、定額法を採用したほうが経営実態をより適切に反映できると判断しました。

これにより、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ34百万円減少し、経常利益は34百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年9月1日 至 2019年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	運送事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	23,591	2,083	554	237	3,728	30,195	282	30,478	-	30,478
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	5,033	176	-	343	5,553	261	5,814	△5,814	-
計	23,592	7,116	731	237	4,072	35,749	543	36,293	△5,814	30,478
セグメント利益又は損失 (△)	1,051	△5	186	128	20	1,382	75	1,458	△1,207	251

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,207百万円には、セグメント間の取引消去243百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,450百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において143百万円であります。

「その他」セグメントにおいて、その他の資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において4百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	運送事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	22,174	2,001	606	212	3,991	28,986	232	29,218	-	29,218
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	4,801	173	0	631	5,607	218	5,826	△5,826	-
計	22,175	6,802	779	213	4,622	34,593	450	35,044	△5,826	29,218
セグメント利益又は損失 (△)	787	40	200	96	31	1,155	57	1,213	△1,238	△24

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食器及び調理備品類販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,238百万円には、セグメント間の取引消去270百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,508百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却方法を変更しております。この変更により、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ「飲食事業」セグメントで30百万円、「不動産事業」セグメントで1百万円、「フランチャイズ事業」セグメントで0百万円、「その他」セグメントで0百万円増加しております。また、各報告セグメントに配分していない全社費用が1百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において161百万円であります。

「不動産事業」セグメントにおいて、賃貸資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において0百万円であります。

「フランチャイズ事業」セグメントにおいて、フランチャイズ店への賃貸資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において1百万円であります。

(重要な後発事象)

今般発生している新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当社店舗の売上高減少等の影響が生じております。加えて4月7日に政府が発出した緊急事態宣言を受け、当社では直営店舗の臨時休業を実施しております。これらの影響により、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があります。影響額については、提出日現在では合理的な算出が困難な状況にあります。

以上